

[1] 動物センター

施設長: 甲斐 知恵子 内線: 75497 FAX: 75379 Mail: ckai@ims.u-tokyo.ac.jp
担当者: 金子 哲也 内線: 75134 FAX: 75387 Mail: kaneko@ims.u-tokyo.ac.jp

サービス項目:

- ・実験動物センター利用のためのサービス
- ・体外受精・凍結胚による系統の維持・保管
- ・各種動物実験の支援

1 動物センターの利用について

サービス内容:

動物飼育スペースの提供、マウス・ラットの滅菌ケージ式の提供、使用ケージの洗浄と滅菌、ウサギの飼育、動物の搬入、微生物モニタリング等を行います。

実験動物センター内で行われる動物実験には事前に所内の動物実験委員会において、実験計画の承認が必要となります。

利用方法:

事前に動物センター利用者講習会を受けて下さい。その後、動物実験委員会へ実験計画書を提出し「実験動物センター利用手引き」に記載してある申し込み方法に従って、必要な書類を作成し(動物実験計画書のコピーも添付)動物センターへ提出して下さい。後日審査およびスペースの調整などを行い、結果を連絡します。実験内容によっては利用できないこともありますので、特殊な実験を希望する場合には事前に、ご相談下さい。

料金: 利用ケージ数または飼育日数を基に経費を算出し請求します。

2 遺伝子操作マウスの系統の維持・保管について

サービス内容:

動物センター利用者および動物センターへの搬入希望者に対して、体外受精、受精卵の凍結保存、融解・移植、また必要に応じて帝王切開を行います。

利用方法:

実験動物研究施設にご相談ください。動物センター利用者に対して、マウス数の増加や汚染などの理由で、こちらから受精卵凍結の推奨や指導を行なうこともあります。

料金:

作業の終了までに購入したマウス、飼育経費などの実費を算出し請求します。